

# 黒澤酒造株式会社

Pick Up!

平成25年度

## 事業計画名

麴(こうじ)の製造工程の改善による日本酒の品質向上と国内外への販路拡大

## 概要

日本酒の醸造工程において、麴(こうじ)造りは【1 こうじ・2 もと・3 造り】と言われ非常に重要な工程である。

現在使用している製麴機は昭和40年代～50年代の普通酒の増産時代のものであり、どちらかというと質より量を重視したもので需要の高まる上級酒の量産というニーズには対応しきれていない。

本事業により吟醸兼用製麴機を導入し、特に好調なアメリカ輸出向けの“純米大吟醸酒”及び“純米酒”を中心として自社日本酒全体の製造能力と品質の向上を図り競争力を強化したい。それに伴い雇用の創出や農業の活性化の一助となりたい。

## 分類

＜対象類型＞ ものづくり技術

＜事業類型＞ 一般型

設備投資のみ

## 成果

- ①高品位質かつ均一な麴を作ることでの酒質の向上
- ②衛生面・作業性の向上
- ③麴を活用した製品群への活用
- ④製麴機の導入により空いたスペースを有効活用し、でき上がった麴を負荷なく使用まで一時保管する“枯らし”のスペースの確保



ギャラリーくろさわ「チャリティー蚤の市」



麴米光選別機「ピカ選ブランド」(H27年度導入設備)

## 平成27年度

### 事業計画名

甘酒・甘酒リキュールの歩留・品質向上と地域農産物を活用した新製品開発

### 概要

引き合いが増えている甘酒・甘酒を使用したりリキュールの工程改善による歩留まりと品質向上を図り、さらに地域農産物を活用した新製品を開発し販路の拡大と農業振興を図る。

## 平成30年度

### 事業計画名

原料処理工程の革新による伝統製法「生酛造り」の高度化

### 概要

自社の水田を持ち、全量長野県産米にこだわる弊社において、洗米・蒸米・放冷と原料米の旨みを最大限に引き出す原料処理工程を刷新する。

江戸時代より伝わる弊社の高い醸造技術力と合わせ、成長する海外日本酒市場へのさらなる販路開拓を図る。

# 好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

黒澤酒造株式会社（佐久穂町）

昔ながらの「生酛造り」にこだわる佐久の銘酒。  
上級酒量産に対応した麴づくりで国内外の競争力を高める。

## アメリカ市場でトップ5に入る流通量

千曲川の最上流地域にあたる佐久平はおいしい米の産地として知られ、13もの酒蔵が点在する酒どころでもあります。

黒澤酒造は1858（安政5）年、現在の佐久穂町に創業。地域に根ざした酒造りにこだわり、代表的な銘柄「井筒長」は佐久地域を代表する地酒として親しまれています。

「生酛造り」という、昔ながらの醸造法が同社のこだわり。空気中に存在する天然の乳酸菌がつくった乳酸で雑菌や野生酵母などを死滅させ、その中でアルコール発酵に必要な清酒酵母（酒母）を純粋培養するという方法です。普通よりも手間がかかりますが、できる酒は味わい深いものになるといわれます。

原料米（美山錦・ひとごちなど）は全量長野県内産を使用。2005（平成17）年に自社田で栽培を始めたのを皮切りに、南佐久、松川村、東御市、坂城町にも契約栽培を広げ、すべて自社精米による原料管理を行っています。

20数年前、先がけてアメリカへの輸出をスタート。今やアメリカ市場では古株の銘柄となり、日本国内の名だたる地酒が輸出される中、トップ5に入る流通量を誇っています。「くろさわ純米生酛」は、インターナショナルワンチャレンジ2009日本酒部門銀賞、全米日本酒歓評会生もと部門3年連続金賞など高く評価され、売れ筋上位にランクされています。

## 高品質な麴づくりで競争力強化

日本酒造りの重要な工程は「一麴・二酛・三造り」といわれ、麴づくりはとても重要です。

同社では平成25年度補正のものづくり補助金を活用し、需要の高まる純米大吟醸、純米酒など上級酒（特定名称酒）の量産に対応した床用製麴機、



井筒長精撰

吟醸兼用製麴機を導入。より高品質かつ均一な麴づくりによって、好調なアメリカ市場向けの上級酒を中心に、自社の製造能力と品質の向上を図り、競争力の強化に取り組みました。

その結果、酒本来の香味を生かした仕上がりなど、酒質が確実に向上。衛生面・作業性の向上にもつながりました。さらに甘酒の香味向上、純米酒に甘酒を混和したりキュールの品質向上とコスト削減など、麴を活用した製品群への活用も進んでいます。

国内市場において普通酒の不振は厳しいものがありますが、特定名称酒の出荷は堅調。輸出用も順調に伸び、輸出用リキュールも好調と確実に成果を上げています。



吟醸兼用製麴機

同社では平成27年度補正、平成30年度補正と、ものづくり補助金をさらに積極的に活用。新製品の開発や、同社がこだわる「生酛造り」の高度化にも取り組んでいます。



アメリカ市場で人気の「KUROSAWA Junmai-KIMOTO」



## 黒澤酒造株式会社

代表 代表取締役社長 黒澤 孝夫

設立 1949（昭和24）年11月

資本金 1,000万円

従業員数 23名

本社 南佐久郡佐久穂町穂積1400

TEL.0267-88-2002 FAX.0267-88-2047

事業内容 清酒、焼酎、リキュール、甘酒の製造・販売、農産物生産

<https://www.kurosawa.biz/>

